

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	会計課	評価者 (課長)	松村 誠	評価責任者 (部長)	宮本 佳子
事務事業コード	016005	事務事業名	会計管理事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VIII 計画推進のための方策(第4章)	節(まちの姿)	VIII 1 -	実施計画	×
	基本施策	VIII12 効率的な行政経営(第4章)	基本方向	民間活力の限られた行政資源を有効に活用し、簡素で効率的な行政経営に努めるとともに、意欲、能力、適性を生かした職員の育成と行政需要に適時・適切に対応した機動的な組織づくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)その他			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	行政を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、事務事業の再編・整理や組織力・職員力の見直しを常に意識した施策を推進します。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】 %				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 債権者、債務者、職員	意図(どういう状態にしたい): 適正な会計管理事務を執行することができる。	事業の内容 (手段)	一般会計、特別会計等の出納事務及び審査事務を行うための経費		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	正確かつ迅速な出納・審査事務が図れた。 審査事務における差戻し件数を減少させるため、年3回(7月、10月、2月)件数・理由を集計し、内容を検証した上で、その結果に基づいた適切な指導を各課に行った。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	3,301	3,410	3,387	3,614	3,387
事業目標	目標名	審査件数における差戻し件数の割合	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	2,412	2,576	2,553	2,780	2,553
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	3,161	3,131	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	9.8	9.6	9.4	10.0	9.8		(決算額) うち一財	千円	2,375	2,389			
	実績値	8.9	6.4	10.5				正職員人件費	千円	65,925	66,555			
	達成度(%)	110.1%	150.0%	89.5%				人工数	人	9.00	9.00	9.00		
								支出コスト	千円	決) 69,086	決見) 69,686			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	出納・審査事務 (経常的事務事業)	債権者、債務者、職員	収入・支出事務を正確かつ迅速に行う。	歳入確定、公共料金一括支払、還付命令・振替命令・歳計外・毎月3回の定例口座払等支払・精算の伝票審査等を、正確かつ迅速に行う。	審査件数における差戻し件数の割合は10.5%であり、89.5%と達成度が後退している。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	平成25年度までは目標値に達成していたが、平成26年度は業務委託及び物品登録業者の見直しがされ、その周知が徹底されていなかったことに伴う差戻しが激増した。						B	改善案	26年度物品登録業者の見直しがなされるなど不確定の要素があるので、27年度の目標値を10%と見直し、引き続き指導が行きわたるよう改善を加え取り組む。					
②														
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	<p>適正な支払いの指導により、支出命令件数減が図られた。 公共料金一括支払いの推進に努めている。 平成23年度から担当制の導入がなされた。 平成24年1月～6月、出納担当の事務補助として臨時職員を雇用した。 平成24年1月から審査事務における差戻し件数・理由の集計を開始し</p>			<p>予算に反映したものは特にないが、課題事項である差戻し伝票の内容を検証し、庁内研修・個別指導等を継続して行い、経理担当者の習熟を図ることで件数を減少させ、会計課職員及び経理担当者の事務軽減を図る。</p>
	細事業の課題・問題点		<p>差戻し件数減少に向け、随時経理担当者に対して指導を行っているが、人事異動により対象者が変わるため、単年度では指導の効果があるが、年度で比較すると十分な効果がみられない。 審査事務には締切りがあり、時間が限られているので、より効率的な取り組みが求められているが、差戻し件数の増加が阻害要因となっている。 平成26年度より業務委託及び物品登録業者の見直しがなされたことに伴う差戻し件数が増加したため、事業目標値の見直しを行った。 平成27年度から「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の改正に伴う変更があったので、審査事務が変更することへの対応、電子決裁運用マニュアルの見直しを加えていきたい。</p>	

所管課評価				
評価	B	<p>A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討</p>	<p>評価理由 グループウェアの掲示板を活用して審査事務における差戻しについて情報を発信するとともに、経理担当者に対する随時の個別指導等の会計事務研修を実施するなど、適正な出納・審査事務に努めているが、達成度が後退したため。</p>	<p>改善案 グループウェアの掲示板をより効果的に活用した情報発信に努め、経理担当者に対してさらにきめ細かい指導を行うとともに、他課との連携を図りながら進めていく。</p>

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 行政サービスの質の維持に貢献し、行政運営を支える公金を確実かつ有利に管理・運営するために必要不可欠な業務である。今後も継続して取り組む。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	900204
分野	9行政経営
基本施策	2将来を見据えた行政経営
推進施策	(4)その他

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
審査事務等の効率化を目指し、パソコンのモニターを従来より大きいものを導入する予算を計上。

備考